

会社全体で育てよう

津軽警備保障(青森県弘前市、山口道子社長)は、一昨年から初めて高校生の新卒採用の準備を開始し、昨年4月に高校新卒の男性5人が入社した。今春に

は男性7人が入社するが、うち6人は昨年入社した社員の高校の後輩にあたる。

同社は、新卒採用を始めるにあたって新卒者の育成と離職を

先輩が、警備員になった。



形のない「安心」を守る。それが私たちの仕事です

・先輩メッセージ

防犯のプロとして、お客様の当たり前の日常を守るための仕事です。覚えることはたくさんあるけど頑張っています！

津軽警備保障



Facebook: 津軽警備保障

採用活動で高校に配布したチラシ(津軽警備保障提供)

防ぐためメンター制度を導入。新入社員に年の近い先輩社員が「ブラザー」として付いて指導などを行っている。

「ブラザー」に選ばれた社員は、事前に社内研修を受けて新卒者への適切な接し方や育成の心構えなどを身に付けた。

業務部の吉田勇太郎長は「制度を取り入れたことで、教育担当者だけでなく会社全体で『新人をケアして育てよう』という機運が高まったと実感しています」と話した。

入社後の新人には、定期的なアンケートを行う。「職場で大変なことは何か」「教育は自分に合っていると感じるか」などとヒアリングして対話を深める。

昨年の新卒採用活動で同社は、新入社員の母校である青森県内の高校3校を訪れて「先輩が警備員になった」とのキャッチコピーで「先輩メッセージ」入りのチラシを就職担当の教師に手渡しして説明した。

その後、「卒業生がいきいきと活躍している会社だと分かり、警備の仕事に興味を持ちました」と生徒が会社見学会に参加、入社に結びついた。